

平成28年 水稲収穫後圃場管理のチェックポイント

- ・ 根雪前の圃場管理を徹底して（ステップ1～5）、乾田化を実現させよう！
- ・ 乾田化により、来春得られる、乾土効果を活用しよう！

ステップ1 稲わらの搬出

- ◆ 稲わらは貴重な資源です。搬出して堆肥や飼料などに有効活用しよう！
- ◆ 稲わらの野焼きは、煙害（健康・交通）や産地への風評害の原因になります。絶対に行わないようにしよう！
- ◆ 稲わら搬出は、いもち病発生圃場では菌密度を低減できる！



ステップ3 心土破碎の施工

- ◆ 心土破碎施工のコツは、「圃場が乾いている時にできるだけゆっくりと」施工する。



ステップ4 あぜの補修

- ◆ 冷害危険期に、最大20cmの深水管理ができるしっかりとした畦に補修しよう！



ステップ2 溝掘りで表面排水の促進

- ◆ 溝は落水口につなぎ、表面水を圃場外に流すことが重要！
- ◆ 表面水の除去により、融雪後の圃場作業開始を早めよう！



ステップ5 土壌診断の活用

- ◆ 高品質米の安定生産には、施肥の適正化が必須。
- ◆ 過剰施肥をなくし、肥料コストを削減しよう！
- ◆ 土壌分析値は、3～4年間は有効。

